



広い視野と高い視座を併せ持つマネジメント人材を育成

働きながら経営とイノベーションが学べる



吉川 晃史
次代舎プログラムディレクター
関西学院大学 商学部 教授

熊本県が主催し、熊本学園大学とイノベーション教育を支援するリ・パブリックが共同実施する熊本イノベーションスクール「次代舎」。2018年度にスタートし、働きながら経営とイノベーションを学べる8カ月のプログラム。経営者や幹部候補の学びの場として注目されている。プログラムの概要や特徴について話を聞いた。(くまもと経済企画開発部)

自社の業績改善で成果受講リピーターが増加

次代舎が開講して5年になりますが、これまでの取り組みを振り返って。

吉川 次代舎は2018年より熊本学園大学で実施する「ファミリービジネス×イノベーション」をテーマとしたスクールとして熊本県の事業として始めました。受講生には、熊本の有力企業から次世代のエースとなる幹部候補生が、ファミリービジネスからは後継者候補者がいます。試行錯誤を重ねながら、新規事業計画やDXカイゼン計画といっ

ていただきたいと経営層の方々に申し上げています。ありがたいことにリピーター企業が増えてきて、ある企業では受講生の上司自らが受講されたり、複数名受講されるなど、次代舎の価値をご理解いただけるようになってきたのかなと思っています。

長期的な成果は、これから5年くらいかけて出てくると思うのですが、熊本地震とコロナ禍でより鮮明になった、少子高齢化社会で、受講企業が新たな価値を創造する事業展開をいかに進めていくことで、受講後にも成果が出るように我々は皆様の後押ししていきたいと考えております。

メンターによる手厚いフォローが充実

次代舎プログラムのポイントを教えてください。

新改 第1に、体系化されたプログラム構成です。前半の「マネジメント力養成」フェーズでは、経営戦略やファイナンス、組織マネジメントなどの組織運営の基礎を学びます。このフェーズで自社の組織や競争環境についての理解を深めます。そして後半の「イノベーション実践」フェーズで、新規事業の立案や既存事業の改善・アップデートを実践していきます。

第2に、経営者レベルのメンターによる継続的な伴走です。中間報告会や最終報告会へ向けたメンタリングをこまめに行うなかで、事業者目線で科目横断的に受講生と議論していきます。各講義での学びを統合させ、広い視野と高い視座を併せ持つ経営人材へと受講生を育て上げます。

たアウトプットを意識した伴走型のビジネススクールとしての立ち位置が明確になり、5期目を迎えて基本的な形が整ってきたところですね。

熊本県からお声がけをいただきながら、当方が2019年に関西学院大学に移り、どう継続していくのかという危機もありましたが、熊本出身の新改先生に参画していただいていたから、うまく受講生をリードしていただけています。また、東京、関西、福岡から一流の講師、メンターが参画して、熱心に指導しますので、受講生からは充実したプログラムであると評価いただいています。

くまもと経済でも取り上げていますが、確かに次代舎の認知度が高まっていますよね。成果や手ごたえをどのように感じていますか？

吉川 短期的な成果としては受講生が、学んだ知識を生かして、自社での業績改善を通じていることです。例えば、データ分析を通じて最適な発注管理により、自社部門の損益改善に大きく貢献した事例や、営業方法の改善を現場とともにして、月次ベースで過去最高益を達成したという成果が出ています。

中期的な成果としては、企業のリピーターが増えてきて、着実に人材育成が進んできているということです。次代舎を受講して、次代舎のメンバー間で話しているという当たり前のことであっても、自社に戻ると組織の常識からはズレていて、社内コミュニケーションに困るという場面が増えていきます。「自社を変えたくても、変えられない」という問題に直面します。ですので、社内でも3人は同じ目線で話せるように、少なくとも3年は次代舎に送っ

第3に、正規の講義やメンタリング以外のサポート体制です。まず、ほぼすべての講義について動画を収録しており、受講生は無制限に視聴することが可能です。また、講義で触れられなかった実務的な論点については、サブゼミという形で補講を行っています。2022年度は「デジタル技術と経営」や「経営者の疑似体験」のサブゼミを行いました。かなり骨太なスクールになっていると思います(笑)

タテ軸・ヨコ軸、各科目の枠を超えた手厚いフォローですね。

新改 体系的に学ぶ講義と実践フェーズでのメンタリング、それをフォローするサブゼミがあり、手厚い指導が売りです。2022年度からは修了生がサブゼミなどに参加できるようになり、受講生の成長と組織変革の達成に向けた修了生向けの次代舎ラボが稼働しました。DXや新規事業の推進へ向けた学び直しの場として、企業で頑張っているごなたに対しては私たちが門戸を開いています。まずは春以降に開催される無料セミナーに、お気軽にご参加いただくと嬉しいですね。

新改 敬英

次代舎プログラムコーディネーター
熊本学園大学大学院 会計専門職研究科 准教授



次代舎 Kumamoto Innovation School Jidaisha

第6期プログラム開講予定



詳細については

募集概要

- 【開講日程】2023年7月～2024年2月(予定)
- 【講座形式】講義+ケーススタディ演習のハイブリッド
- 【対象者】熊本県内企業の次世代経営者・幹部候補
- 【定員】15名程度
※応募者多数の場合は、応募内容をもとに選考を行うことがあります。
- 【受講料】30万円(税込)

お問い合わせ先 熊本学園大学付属産業経営研究所(担当:学術文化課)
Tel. 096-364-5161(代表)
<https://jidaisha.org>

Check!

模擬講義動画を公開中!

次代舎で学ぶことになる経営学の基礎について解説しています。

